

はやかわ



平成24年 祝 成人式
早川町 早川町教育委員会



大人の仲間入り

—早川町成人式—

1月8日、町民会館において12名の新成人が参加して成人式が行われました。式典では、町長や来賓からの祝福や激励の言葉を受け、新成人を代表して、深澤晶南さんが、成人としての責任と自覚を誓いました。



the most beautiful
villages
in japan

平成23年度早川町教育委員会の活動の点検・評価を公表します

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出すると共に、公表することになりました。このため、早川町教育委員会では、新長期総合計画の基本計画の項目について点検・評価を行い、上・中・下の3段階による評価を実施しました。評価の結果と各項目に対しての所見は次のとおりです。

早川町教育委員会では、この評価を今後の教育行政に活かしていきます。

平成23年度早川町教育委員会の活動の点検・評価 (委員5名・職員6名＝11名)

項目	観 点	評 価	上	中	下	所 見
総合評価	魅力的な山村の学校教育の実現を目指す。	上 ⊕ 下	5	6	0	総合計画に掲げる早川教育の実現を目指し、町民のため、子どもたちのためにやっていくという姿勢が大事である。結果はなかなか出ないが前向きに取り込んできた。今後も特色ある学校教育の推進と少子高齢化の現況の中、創意工夫して生涯教育に取り組んでいきたい。
	地域ぐるみの子育てに努める。	上 ⊕ 下	5	6	0	
	社会教育の充実に努める。	上 ⊕ 下	3	7	1	
	伝統的山村文化の保存・継承と創造に努める。	上 ⊕ 下	4	7	0	
学校教育担当	生きる力を育む教育を推進する。	上 ⊕ 下	5	6	0	小中学校の特色ある教育をさらに発展させ成果をあげるため、予算の確保と教育条件の整備・拡充に努めた。
	少人数教育の充実に努める。	⊕ 中 下	8	3	0	
	充実した教育機器と学校施設の活用を図る。	⊕ 中 下	8	3	0	山村留学については受け入れ後に諸問題が発生することもあるので、今後はきちんと調査を行い慎重に対応していく。
	個性ある学校の充実に努める。	⊕ 中 下	8	2	1	
	学校間の交流を推進する。	⊕ 中 下	6	4	1	
	一貫教育の研究を進める。	上 ⊕ 下	2	7	2	事務的なことは大きな問題もなく、運営ができたと思う。
	山村留学の推進を図る。	⊕ 中 下	7	4	0	
学校開放と地域との連携を図る。	上 ⊕ 下	2	9	0		
社会教育担当	生涯学習の推進を図る。	上 ⊕ 下	4	7	0	高齢化に伴い行事に参加できる町民は減少傾向にあるが、参加者は前向きに楽しく取り組んでいるので、今後も継続して事業を行う。
	生涯スポーツの推進を図る。	上 ⊕ 下	4	7	0	
	郷土資料館の整備と充実及び運営を行う。	上 ⊕ 下	1	10	0	高齢化の中、伝統芸能や行事等の保存継承を図っていくことが重要である。総合型地域スポーツクラブの設立は厳しい状況にあるが、陸上クラブは熱心な指導で実績を上げており、クラブ員募集も積極的におこなっているため、今後も期待したい。
	伝統芸能・行事等の保存と人材育成を図る。	上 ⊕ 下	1	8	2	
	生活文化等の保存に努める。	上 ⊕ 下	2	8	1	
伝統的な町並みの保存と継承に努める。	⊕ 中 下	7	4	0		
教育委員	教育委員は誠実に職務を遂行していますか。	⊕ 中 下	9	2	0	毎月の定例会で諸問題に対して迅速に対応している。 各学校の行事や社会行事等にも積極的に参加している。
事務局	事務局職員は誠実に職務を遂行していますか。 (服務・接客など)	⊕ 中 下	8	3	0	事務局の職員が少ない中で、1人が複数の事務を担当しながら、全員で協力して誠実に業務を行っている。 行事などの反省は次に生かし、きちんと引継ぎをするよう努力する。

〈その他・感想等〉

- ・保護者と地域が望んでいる早川教育を推進していける指導システムの構築(早川町独自の教育を教職員に指導する)。
- ・社会体育の充実に努めるための新規事業追加や、またこれから先のことを常に考え仕事に取り組むことが必要である。
- ・町が少しでも盛り上がっていきけるような工夫を取り入れ、それを意識しながら仕事を進めていきたい。
- ・毎年の反省を次に生かし来年に引き継ぐことと、公務員として常に「おもてなしの心」ホスピタリティを持つことが大事である。



軽スポーツ大会 (6月)



きのご鑑定会 (10月)



寿大学・正月飾り作り (12月)

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ二億千六百一十一万円を追加し、それぞれ二十四億六千二百二十七千円となりました。

※今回の補正予算は、台風十二号及び十五号による台風災害の復旧にかかるものです。

◆平成二十三年度早川町一般会計補正予算 (第六回)

早川町臨時議会議案

1月10日、早川町臨時議会が開催され、平成23年度一般会計補正予算等が慎重に審議されました。
議決された審議内容は次のとおりです。

■ 集落の将来に向けた取り組みが始まりました! ■

上流研では、役場から委託を受け「集落の維持活性化に向けた調査研究」を進めています。この2年間は保・黒桂・古屋の3集落で、それぞれの取り組みをお手伝いしてきました。今回は、それぞれの集落で今年度行われた取り組みの様子と、1月22日(日)に町民会館で行った講演会の様子をお伝えします。

保集落の取り組み

保集落では、JR連合のボランティアと一緒に、『獣害対策のため、集落を囲む柵の補修や草刈りなどの作業』と『荒地解消に向けた花いっぱい運動』を6月と9月に実施しました。草刈りや開墾によって集落の中が徐々に明るくなる反面、日々の管理をどうするかなどの課題が出てきています。それでも、『管理体制や、いつどこにどんな花を植えるかを集落で話し合っ決めていこう』と前向きです。今後もボランティアと協働して、この取り組みを進めて行く予定です。



▲ 花いっぱい運動 (保集落)

古屋集落の取り組み

古屋では、継続してボランティアを受け入れていこうという取り組みが、今年度から本格始動しました。道づくりや草刈りなど集落の環境整備の作業と、農作業やバーベキューなどの「交流」を合わせたイベントを計10回実施しました。イベントの後は毎回反省会をしながら、徐々に取り組みを改善してきました。最近ではボランティアも話し合いに加わり、どうしてももっと無理なく楽しい取り組みができるかを、集落と一緒に考える体制ができてきました。来年度以降も、集落とボランティアとの二人三脚で、集落の明るい将来に向けた取り組みを進めていけそうです。



▲ ボランティアとイベントの今後について話し合い (古屋集落)

黒桂の取り組み

黒桂では、「みんなで空き家を片づけ、移住者を受け入れる不安解消の仕組みを検討する」ことが昨年話し合いで決定しました。現在は、新たな移住希望者を待っている状態です。移住が具体的に変わった段階で、話し合いを再開していきます。

公開講演会

1月22日(日)に町民会館で、住民自治による集落の維持・活性化についての講演会を開催しました。この講演会は、保集落・古屋集落・黒桂集落の取り組みの紹介や、他地域でどのような考えで集落維持・活性化に取り組んでいるかを参考に、皆さんの集落の将来を改めて考えてもらいたいという想いで開催しました。外部からは4名の講師をお迎えし、基調講演、事例報告をして頂きました。

【講師の皆さん】 大野 晃氏 (長野大学教授) 大崎 登氏 (高知県津野町 森の巣箱)
山本浩史氏・多田朋孔氏 (新潟県十日町市 十日町市地域おこし実行委員会)

～ 講演のポイント～

- 『全国の山村において、限界集落が増加傾向にある』
- 『限界集落では、買い物など生活に必要なものを集めた施設があると良い』
- 『住民の取り組みを市町村、都道府県、国へと伝え、政策へ反映させる仕組みが必要』
- 『山・川・海は一体。環境保全や限界集落問題も国全体で考える必要がある』
- 『行政頼みではなく、住民自らで行動することが重要』
- 『外部の人材も集落を支える一員とみなし、協力しながら集落の将来を考えていく』
- ※ご希望があれば、講演会の資料をお渡します。



▲ 95名もの方が参加されました

集落の維持・活性化の第一歩は、集落の将来について集落で話し合うことだと思います。でも、みんなに呼び掛けるのは勇気が必要ですし、そもそもどうやって話し合いをすれば良いか分からないという方も多いと思います。そんな時には、上流研を活用してください。来年度以降、これまでの成果を元に、サポートする集落を広げていけたらと思っています。いつでもご相談に応じますので、お気軽にご連絡ください。

【研究員 鹿島健利】

早川町学校給食センター調理員募集

- ◇年齢 55歳まで
- ◇勤務 平成24年4月1日から(毎週月曜日から金曜日)
- ◇休日 土・日・祝日
年末年始12月29日から1月3日
- ◇時間 朝8時30分から夕方5時15分まで
- ◇内容 給食調理作業 (資格必要なし)
- ◇必要書類 履歴書
- ◇募集期限 2月末日まで
- ◇その他 早川町役場臨時職員取扱要綱による(可能なら長期的に勤務できる方)
- ◇問い合わせ先 早川町教育委員会 TEL 45-2547
(勤務形態については面接時に相談可能)

確定申告・町県民税等の申告が始まります

所得税の確定申告、町県民税の申告が間近となりました。

この申告は、あなたの町県民税や国民健康保険税などの税額の算定や所得証明書等の各種証明書発行の基礎資料となる大切なものですので、申告が必要な方は必ず期間内に申告書の提出をお願いします。(申告が必要な方が申告をしなかった場合、国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者医療保険料の軽減制度の適用を受けることができないほか、所得証明、課税証明等の証明書等の発行ができません。)

町では申告期間中に役場にて申告を受け付けますので、事前に添付書類等を確認してお越してください。

また、2月16日から22日にかけて、各集落を回り納税相談を行いますので、その機会もご利用ください。(納税相談の詳しい日程につきましては、回覧・お知らせ版にて既にお知らせしてあります。)

●町県民税の申告が必要な方

平成24年1月1日現在、町内に住んでいる方で

- ・町から『町県民税・国民健康保険税申告書』が送付された方
- ・給与・年金以外の収入(報酬収入、不動産収入等)がある方
- ・医療費控除が対象となる方



●所得税の確定申告の申告が必要な方

- ・税務署から『確定申告書』が送付された方
- ・給与の収入金額が2,000万円を超える方
- ・給与を1か所から受けていて、各種の所得金額(給与所得、退職所得を除く)の合計額が20万円を超える方
- ・給与を2か所から受けていて、年末調整されなかった給与の収入金額と、各種の所得金額(給与所得、退職所得を除く)との合計額が20万円を超える方
- ・各種の所得金額の合計から所得控除を差し引き、その金額に基づいて計算した税額が配当控除を超える方

◎確定申告をする必要のない方でも確定申告により所得税が還付される場合があります。

- ・マイホームをローン等で取得した場合
- ・多くの医療費を支払った場合
- ・災害などで損害を受けた場合
- ・年の途中で退職し、再就職していないため、年末調整を受けていない場合

【問い合わせ先】早川町役場町民課税務保険担当 ☎ 45-2511 (内線36)

～税務署からのお知らせ～

確定申告書は自分で書いて、早めに提出してください!

◎平成23年分の申告書の提出期間は下記のとおりです。

申告書の種類	提出期間
所得税還付申告書	平成24年1月4日(水)～
所得税確定申告書	平成24年2月16日(木)～3月15日(木)
消費税確定申告書	平成24年1月4日(水)～4月2日(月)
贈与税申告書	平成24年2月1日(水)～3月15日(木)

※鯉沢税務署では、税務署1階に申告書作成指導会場を開設し、申告作成指導を行っています。

会場開設期間：平成24年1月23日(月)～4月2日(月)(土・日・祝日除く)

◎納税には振替納税をご利用ください。

所得税の確定申告分の振替納税日は、平成24年4月20日(金)です。

◎国税庁のホームページで確定申告書が作成できます。

国税庁ホームページの「確定申告書作成コーナー」で所得税の確定申告書・青色申告決算書・消費税等の確定申告書・贈与税の確定申告書が作成できます。

◎所得税の確定申告はe-TAXをご利用ください。

e-TAX(電子申告)を利用すると、自宅や会社から簡単に申告ができます。また、e-TAXを利用すると源泉徴収票や医療費の領収書の添付が省略できるほか、最高4千円の税額控除を受けることができます。

【問い合わせ先】鯉沢税務署 ☎ 0556-22-3191

耳の日フェスタが開催されます

3月3日は耳の日です。

日本耳鼻咽喉科学会山梨県地方部会では、この耳の日にちなんで、下記の通りイベントを開催いたしますので、皆様のご参加をお待ちしています。

耳の日フェスタ 耳の日講演会

■日時 平成24年3月4日(日) 午後1時開場

■記念講演 講演1 つまらない話

ー耳閉感の原因と治療ー

今村耳鼻咽喉科めまい・難聴クリニック
医院長 今村俊一先生

講演2 人工内耳のはなし

山梨大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科
助教 遠藤周一先生

■相談会 講演終了後に耳鼻咽喉科専門医による講演内容ならびに耳鼻咽喉科の病気・補聴器に関する相談会を行います。

■会場 岡島ローヤル会館8階「ゴールドルーム」

■入場料 無料

■問い合わせ先

日本耳鼻咽喉科学会山梨県地方部会事務局
電話 055-273-9765

春の「きこえ」と「ことば」 相談会のお知らせ

—ろう学校「きこえとことばの
相談支援センター」—

お子さまの「きこえ」「ことば」のことで不安はありませんか。

少しでも不安のある方は、この機会にご相談ください。専門の教員がご相談に応じます。来校されるのが難しい方は、電話やメールでの相談も受けております。

■日時 平成24年3月16日(金)～3月17日(土)
午前9時から午後5時まで

■場所 県立ろう学校(山梨市大野1009)

■対象 0歳児から大学生まで

■相談内容

- 1 「きこえ」と「ことば」に関する悩みの相談
- 2 「きこえ」と「ことば」に不安のあるお子さまへのかかわり方について(育児相談)
- 3 「きこえ」と「ことば」に不安のあるお子さまの生活や学習について(育児相談)
- 4 聴力測定
- 5 補聴器相談

■申し込み方法 事前に電話かFAXで日時を予約してください。(締め切りは3月9日(金)午後5時まで)

■問い合わせ先

TEL 0553-22-1378 FAX 0553-22-1378

E-mail sodan@rogako.kai.ed.jp

(ろう学校「きこえとことばの相談支援センター」手塚)

☆費用は一切かかりません。

☆完全個別予約制で秘密は厳守します。

☆電話やE-mailでの相談も常時受け付けています。

ただし、相談期間中はご遠慮ください。

☆この相談会はろう学校入学とは関係ありません。

KIKIさんによるトークイベント 「休日山歩」を開催

南アルプス世界自然遺産登録山梨県連絡協議会では、山の楽しさ、歩き方をテーマに「休日山歩」と題したトークイベントを開催いたします。

■日時 平成24年2月19日(日) 午後1時30分より

■会場 櫛形生涯学習センター あやめホール(南アルプス市)

■参加費 無料

■お申し込みが必要となります。

平成24年1月20日(金)よりお電話で受け付けます。

申し込み先:早川町役場振興課

0556-45-2511(代) 先着順:定員になり次第、締切らせていただきます。

※当日、送迎車が出ますので詳細につきましては参加者に追って通知いたします。

■主催 南アルプス世界自然遺産登録山梨県連絡協議会
(南アルプス市・韮崎市・北杜市・早川町)

○第1部 KIKIと鈴木みきが語る休日山歩

○南アルプスの魅力ってなんだ??

パネルディスカッション

○パネラー

KIKI(モデル)

鈴木みき(イラストレーター)

増沢武弘(静岡大学特任教授)

塩沢久仙(南アルプス芦安山岳館長)ほか



鈴木 みき
(イラストレーター)



KIKI(モデル 女優)

スリップ事故の防止について!

冬季は、道路への積雪や凍結などによるスリップ事故が多発します。積雪のない場合でも橋の上や山の陰、トンネルの出口などの日陰では、雪解け水や霜による凍結から大変危険な状態になっている箇所もあります。

スリップ事故を防止するためには

- スタッドレスタイヤ着など防滑措置を早めにする。
- 路面凍結が予測される場所の手前では十分に減速する。
- 急発進、急ハンドル、急ブレーキなど「急」がつく危険な運転はしない。
- 前を走る車の行動を予測する。
- 車間距離を十分に取る。
- 道路標識や情報板に注意し、交通規制を守る。

ドライバーのみなさん!! 積雪や凍結した道路での正しい運転方法や知識をしっかりと身につけ、無理をしない確実な運転により、スリップによる悲惨な交通事故を防止しましょう。

■問い合わせ先

県警察本部交通企画課 電話 055-235-2121(代)

2月23日は富士山の日です

県では、富士山の豊かな自然、美しい景観、固有の歴史・文化を後世に引き継ぐための運動をなお一層推進するとともに、富士山の世界文化遺産登録の実現に向けて、静岡県等と連携し、国民運動を盛り上げていくため、2月23日を富士山の日とする「山梨県富士山の日条例」を制定しました。

2月23日を中心に、富士山の日制定記念行事や、関連イベント等が予定されていますので、積極的にご参加ください。

■問い合わせ先 県観光資源課

電話 055-223-1521 FAX 055-223-1556